



水槽内の琵琶湖の魚を観察する親子=日野町西大路のブルーメの丘で

琵琶湖の魚 15種類展示

日野で移動水族館

日野町西大路の滋賀農業公園「ブルーメの丘」で16～18日、琵琶湖の水生生物を学べる移動水族館が登場した。18日には軽トラック2台の荷台を連ねた上に棚を載せ、12個の水槽の中に琵琶湖固有種にあたるヒワコオオナマズやイトコナマズの幼魚、ニゴロブナにオウミヨシノボリ、外来魚のカムルチーのほか、ドンコやヤリタナゴなど計15種類の魚を展示。連休最終日に遊びに来た親子が、じっと目を凝らして観察していた。このほか、ザルを使った魚のつかみ取りもあった。

(名倉航平)

スポーツ 滋賀

BOOKお湖

◇開運!なんでも鑑定団(後8・54・9・54) 43歳で退職しスペインでギター製作の修業を始めた依頼人。お宝はスペインの名工サントス・エルナンデスが製作したクラシックギター。三十数年前に一目惚れし800万円で購入した。その価値が気になった。

◇みなと商事コインランドリー2号(20日前0・30) 古びたコインランドリー管理人のアラサ男子と、まっすぐでユーア過ぎるイケメン高校生の、年の差を超えた胸キュンラブストーリー。シンへの誕生日プレゼントを考える隣。一体何をプレゼントするのか。

(福井県敦賀市) ⑤奥出幹次・中野忠治(長浜市)

関西ニュース

江崎ダリコの乳児用液体ミルク「アイクレオ 赤ちゃんミルク」日本ハムの防災食「ポークソーセージステーキ」のイメージ



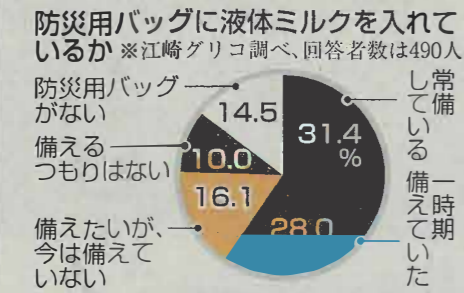
(写真はイメージです)

災害時も栄養補給を

大阪の企業 非常食の展開に注力

関東大震災から100年となり、防災対策に注目が集まる中、大阪に拠点を置く食品関連の企業は非常食の展開に注力している。避難生活で不足する可能性のある乳児の栄養やタンパク質を手軽に取ることができ、商品を開発している。江崎ダリコは、乳児用液体ミルク「アイクレオ 赤ちゃんミルク」を販売。母乳に近い成分で、お湯に溶かさず常温で乳児に飲ませることができ、賞味期限は9カ月。125ミリリットル入りで参考小売価格は227円。薬局などで販売している。

2歳までの子どもを持つ490人が回答した江崎ダリコの調査では、防災用バッグに液体ミルクを「常備している」の回答は31.4%、「一時期備えていた」が28.0%、「備えていない」が16.1%、「備えたいが今は備えていない」が14.5%、「常備していない」が10.0%だった。



高次木材として知られる吉野杉の産地・奈良県吉野町の若者が、木の魅力を伝えるイベントの開催資金をクラウドファンディング

吉野杉の魅力伝えたい

奈良 若者らイベント資金募る



木の魅力を伝える「よしのウッドフェス」の開催資金を募るため、クラウドファンディングを企画した吉川さん=奈良県吉野町で

(CF)で募っている。低迷する林業に幅広い層から関心を持ってもらえるよう、集まった寄付は子ども向け企画などに充てる考え



「お城EXPO」5市長が魅力紹介

日本各地の城がある自治体関係者が集まるイベント「お城EXPO」が、国宝姫路城を有する兵庫県姫路市で開かれた。姫路での開催は初めて。国宝の城がある5市長が出席し、城の魅力などを紹介した。国宝姫路城の世界遺産登録30周年を記念し、市などが企画。16日のトークショーには姫路市の他、長野県松本市、愛知県犬山市、滋賀県彦根市、松江市の各市長が登場した。松本と天山、松江の3市長は合同で城の世界遺産登録を目指しており、8月20日には住民らがそれぞれの城の床を磨くイベントを開催。雲義尚松本市市長は「美しさは維持しつつ、若い世代も城を楽しめるようにしたい」と語った。

このイベントは「よしのウッドフェス」で、林業などの後継者有志でつくる一般社団法人「吉野と暮らす会」と地元の若者が企画。木工体験や製材所の見学を通じ、木材に親しんでもらうのが目的で、2019年に初開催すると千人以上が参加した。新型コロナウイルス禍が落ち着き、今年10月に第2回を行う。今回は幼い子らに木材の魅力伝える「木育」スペースなどの新設を計画。しかし、資金不足が課題となり、CFを活用することに。目標額は100万円だが、達成できなくても模を縮小して開催する。吉野町の林業は500年以上の歴史があり、木材加工会社などの関連産業が集積する一大産地。しかし長年続いた国産木材の価格低迷や過疎化で、町の林業従事者は減少が続いている。企画した自営業吉川晃日さん(27)は大阪府出身で、大学時代に吉野町を訪れたのをきっかけに町や林業の懸案を知り、21年ごろに移住した。「木の豊かさや林業の課題を感じるきっかけになれば」と話している。支援はCFサイト「READYFOR」で25日まで受け付ける。